

## 啓仁会初の地域密着型サービス事業所の開設に向けて

医療法人啓仁会（埼玉県所沢市） 所沢地区担当部長・所沢ロイヤル病院事務長 加藤 芳浩



地域密着型サービス事業所完成予定図

所沢市より公募がありました『第 8 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画』の施策の一つである地域密着型サービス整備計画の内、【看護小規模多機能居宅介護（登録 29 名、通い 15 名、泊り 9 名）】及び【認知症対応型共同生活介護（9 名×2 ユニット）】の事業者として当法人が選定されました。

所沢市の本計画の基本理念「人と人との絆により支え合い、自立した生活を送るために」をもとに「地域住民が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるために、住民一人ひとりの状態に対応できる施設を整備し、当法人がこれまでに培った経験と実績を活かし、地域社会に貢献する」ことを目的に 2023 年 3 月開設に向けて準備を進めています。

工事着工に先立ち令和 4 年 9 月 14 日（水）、天候に恵まれるなか新規事業建設予定地にて地鎮祭が執り行われました。

式には矢吹甚吾理事長をはじめ当法人関係者、設計・施工業者等合わせて 19 名が参列し、工事の安全を祈願しました。

10 月 4 日（水）には開設準備委員のキックオフミーティングを開催しました。

委員は所沢ロイヤル病院から新しい施設へ異動してもらう職員を中心に集まり、開設の目的や事業所の理念、基本方針などの説明と施設概要や今後のスケジュールなど情報共有いたしました。

委員からは新規事業への期待と不安が入り混じる意見がありましたが今後のミーティングを通して不安を期待に変えられるようにしっかり準備していきたいと思います。

所沢市内で初めての看護小規模多機能型居宅介護事業と当法人で初めての認知症対応型共同生活介護事業になりますので地域の方々に長く愛される施設に向けて職員一同、尽力いたします。

### 【ご挨拶】

地域密着型サービス事業所開設準備室  
室長 櫻井 忍

10 月 1 日、地域密着型サービス事業所開設準備室が開設されました。来年 3 月の開所に向け様々な準備を整えていくことになります。「看護小規模多機能型居宅介護（通称：看多機）」は、所沢市で初めての事業であり、言葉に馴染みがない方もあられるかもしれません。1 つの施設で通所・訪問（介護・看護）・宿泊を組み合わせてサービス提供する施設となります。通所サービスで顔なじみの職員がご自宅へケアに訪問させていただきますので、ご利用者もご家族も安心できるメリットがあります。

これから数か月で建物が着々と出来上がる中、職員の募集や研修、介護ソフトの操作研修、様々な物品の選定や搬入等、目まぐるしい毎日となります。一からスタートする大変さとともに、皆で作り上げる喜びも感じられたらと思っています。

ご利用者だけでなく、ご家族や施設で働く職員、さらには地域の方々が「笑顔になれる」、「ほっこりできる」、そんな施設に向けて一つ一つ丁寧に準備していきたいと思っています。



▲地域密着型サービス事業所詳細

左側：認知症対応型共同生活介護事業所

（グループホーム）

右側：看護小規模多機能型居宅介護事業所



新事業施設建設予定地



地鎮祭の様子



地鎮祭集合写真



キックオフミーティング  
頼もしいメンバーが集まりました



# 看護介護部3施設合同研修を開催しました

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 三鷹ロイヤルの丘（東京都三鷹市） 事務次長 竹原 真也

すっかり秋めいてきた10月中旬に、自然豊かで海と山が混在している最高のロケーションが自慢の街「伊東市」にて法人内の老健3施設「所沢ロイヤルの丘」「いとうの杜」「三鷹ロイヤルの丘」の看護介護主任26名が一堂に会し、合同リーダー研修を開催いたしました。各施設での研修は普段も開催しておりますが、合同研修は初の試みであり、この度、看護・介護局の協力を得て、実現に至りました。

当日は、伊東地区事務部長から「目指すべきリーダー像」について講義があり、その後、部下育成についてのグループワークを行いました。午後からは、グループごとの発表と主任各々の成果発表や研修後の目標設定→決意表明について発表しました。

最初は各々緊張しており、口数も少ない様子でしたが、普段、それぞれの施設で主任として部下を率いているということもあり、会の終盤には、活発な意見交換がされており、休憩時間にも各々の施設の悩みを相談し合ったり、情報を共有したりと、とても有意義な研修会となりました。



グループワークでの課題検討の様子

今回の研修で得たことを、日々の業務に活かし、利用者さまへのよりよいサービスを提供していければと思います。今後は老健5施設での合同研修を企画し、第2回、第3回と回を重ねていくことで、更なる法人内職員のレベルアップにつな

がると考えており、法人内の全職員が心のこもったケアの実現に邁進してまいりたいと思います。

## 【砂川 看護・介護局長よりのコメント】

看護・介護職に求められることは、第一に「患者様・利用者様に満足いただけるケアを提供すること」ですが、職員個々の経験や能力・考え方などは様々であり、職員の育成はリーダーにとって重要な役割です。

事前に受けた適性検査の結果を参考に自己を見つめ直し、目指すリーダー像に近づくためにどう行動するかを受講者の前で宣言、今回の研修ではそれぞれが目標達成に向けて努力をした結果を発表しました。それは修正をしながらこれからも継続されるはずです。

グループワークでは、チームメンバーの悩みを自分の事



老健いとうの杜・山下施設長による講評



として捉え、制限時間の中で要因や解決案など協力しながらまとめ上げ、発表することができました。

この研修受講者は各施設のリーダーであり、指導・教育のみならず、日々現場で発生する様々な問題に対応する大変な役割も担っており、リーダーとして必要とされる能力は多種多様です。

利用者様・ご家族様・他職種との会話や調整に必要なコミュニケーション能力、チームの中で情報を共有し問題を解決する力、そして常に協働する姿勢など、今後質の高いケアを提供するために多くの学びがありました。受講して終わりではなく、目標を持ち行動につなげるような動機づけができた、実に有意義な研修であったと思います。

介護についてまとめた冊子「啓仁会メソッド」には、私たちに多くのことを指導して下さった先輩からのメッセージが記されています。

「ケアは、知識と技術と人格で織りなす、人を癒す芸術」

この言葉に込められた思いを胸に、リーダーとして最高のチームで、最高のケアが提供できるように、今後も法人各施設の連携を図り、成長する看護・介護部職員を応援したいと思います。

## 院内 AED 研修

医療法人啓仁会 ロイヤルこころの里病院（埼玉県所沢市） 総務課 龍前 智彦

当院では全職員を対象としたAED（自動体外式除細動器）の研修を毎年行っており、今年も10月に研修を行いました。今回は院内での使用を想定した研修です。院内であれば協力者が集まりやすく、救急カートの一式なども使用してより手厚い処置ができるようになります。しかし院内とはいえ緊急事態である事には変わりなく、慌てることなく必要なことを行えるよう研修は大切だと考えます。入院中の患者様の急変を想定しているため、心電図モニターやアンビュバッグなどを使用していつもの研修とはまた違ったものとなりました。現実の急変はどのような状況で発生するか分からないので、良い機会になったと思いました。

自分は緊急時にAEDを正しく扱えるか考えてしまい不安になる人も多いと思います。私もそうなのですが、もしそれが自分の大切な人だったら、と考えるとそんなことは言っていられません。定期的にしっか研修を受けて自信をもってAEDを扱うようにしたいと思います。



胸骨圧迫は大切な処置のひとつです



# 敬老会を行いました

医療法人啓仁会 平成の森・川島病院（埼玉県川島町）一階病棟 中井 美香

当院の1F病棟では、今年90才以上のお祝い対象の方は7名いらっしゃいました。

院長先生からお祝いの言葉を述べられ、プレゼントの贈呈が行われました。

1人ずつ、お祝いのネームプレートを付けて、敬老会の飾りつけの前で記念写真を撮りました。

皆さん笑顔での写真撮影でしたが、どこことなく緊張されている様子もありました。

敬老会の後は、栄養科より提供された、松の練り切りを頂きました。

長寿を迎えられた皆さま、どうかいつまでもお元気で過ごしてくださいね。

リハビリ頑張って行きましょう！



祝・94歳おめでとうございます



# お楽しみメニュー

社会福祉法人 栄光会 ケアハウスロイヤルの園（埼玉県所沢市）栄養課 主任 佐藤 千香

ケアハウスロイヤルの園では、以前より毎月1回バイキング食を実施していましたが、コロナ禍となりバイキング食を中止せざるを得ない状況になりました。何か代わりに出来ることが無いかと考え、毎月1回お楽しみ

メニューを行うことにしています。4月は行楽弁当、5月は大人のお子様ランチ、6月は中華、7月は鰻と海老のちらし寿司、8月はうどん膳、9月はバラちらし寿司といった毎月テーマを職員で話し合い、メニューを決めて提供しています。何時かはバイキング食を再開したいと思っていますが、可能になるまでもう少し時間がかかりそうです。

で、それまでの間、引き続き入居者の皆さまに楽しみにしていただけるようなメニューを考え、続けて行きたいと思っています。



満腹・満足の行楽弁当でした！



敬老の日のお祝い膳となりました



暑い日におすすめの、うどん膳です

あら！おいしそう



# 日清さんから素敵なブーケが届きました

医療法人昭仁会 北野病院（埼玉県新座市）管理栄養士 藤原 実貴／介護老人保健施設 四季の里 管理栄養士 堺 充由・村居 里奈、栄養士 佐藤 可奈子

まずはじめに、日清医療食品さん50周年おめでとうございます！！

病院食など施設での日々の食事でお世話になっている日清医療食品さんより創立50周年ということで、とっても豪華な「スイーツブーケ」をご提供頂きました。

見た目にも色鮮やかで味もフルーツの爽やかにピスタチオクリームの香ばしさが広がるまさに「ブーケ」のようなケーキでした。

嚥下の悪い方も多く普段はゼリーやムース類の提供が多いため、ケーキは難しいかと思われましたが、今回のケーキは中心部分のスポンジがしっかりと柔らかく、職員が介助を工夫することでより多くの方にこのブーケをお届けすることが出来ました。

また、患者様・利用者様だけではなく職員にも大変好評で喜んで頂きました。

日清医療食品さん有難うございました。これからも、お互い感謝の気持ちを忘れずに協力し合って皆さんに喜んで頂けるお食事を提供していきます♪



日清50周年ケーキ断面

日清50周年ケーキ



# 事業所を移転しました

医療法人啓仁会 訪問看護ステーション豊川さくら（愛知県豊川市） 所長 伊藤 智恵

令和4年10月1日、豊川さくら病院の新築移転に伴い、訪問看護ステーション豊川さくらの事業所も新病院内の一室に移転しました。病院の新築移転の構想が練られ始めてからしばらくして「訪問看護ステーションも新病院内へ移転する」と伝えられましたがあまり実感もないまま、あっという間に移転の日を迎えました。

おかげさまで事業所の引っ越しも通常業務に支障をきたすことなく行うことができ移転に際し、たくさん頂戴したきれいなお祝いのお花を訪問看護の事業所内にも飾らせていただきました。現在は引っ越しに伴う若干の混乱も解消し、少しずつ落ち着きつつある状況です。

さて新しい事業所は病院の1階北側に位置しています。事業所専用の通用口から入りし、通用口を出てすぐの駐車場にある

訪問車で訪問に出かけていますが、近隣の道路は幅が狭く見通しも良くないところがあるため、事故のないようこれまで以上に気を付けています。

そして、移転に際しこれまで

とは大きく変わったと感じる点があります。ひとつは事業所自体が新しくなったことで気持ちも新たにできたことです。実は移転にあわせてユニフォームも心機一転、リニューアルしました。今まではエンジだったのですがネイビーとなり、カラーが変わったことでイメージもかなり変わりました。

もうひとつは事業所の場所が変わったため通勤路や訪問経路などが変更となりました。通勤時は職員駐車場から病院まで少し距離があり、幹線道路の横断が必要となるため特に出勤時は歩行者信号の青に間に合うようにと走るような場面も出てきました。また訪問時のルートも帰所ルートも変更とな



訪問看護ステーション通用口



お祝いでお花をいただきました

りましたが、ようやく少しずつ慣れてきました。

さらにこれまでの事業所は病院や老健などの施設とは別の建物内に構えられていたため、病院や老健の職員との接点がありませんでしたが、移転後は顔を合わせればあいさつを交わすなど、職員同士のちょっとした関わりの機会が増えました。同建物内のため他部署との連携がしやすくなり、また訪問リハビリ部門と同室となったこともあり、特に訪問部門間の情報交換、連携のしやすさが容易になったと感じています。

そうした連携のしやすさなどを存分に生かし、今後も地域の皆様の信頼にお応えできる新たな拠点となるよう、職員一同気持ちを新たににより一層のサービス向上に努めたいと思います。



新病院北側に駐車場があります

## ロイヤル・ワム・タウン写真館 vol.44

医療法人啓仁会 法人本部  
総務人事部 矢澤 誠



▲ 3年ぶりに観た秩父の雲海 (写真1)

◀ (写真2)

3年前・2019年の本誌面で埼玉県・秩父の雲海の写真を掲載いたしました。「首都圏からほど近いエリアで、雲海が鑑賞できる場所」として、たびたびテレビの情報番組などでも取り上げられているこの雲海ですが、いつでも観ることができるわけではありません。基本的には「直前に雨が降るなど湿度が高い」「日中との気温差が大きい」「風がゆるやか」といった条件が必要であるため、春・秋が好条件なのですが、その日になってみないと、いやそれどころか現地に行ってみないと分からないクセモノであったりもします。しかも、深夜遅い時間または早朝未明でないと夜景として鑑賞するのは難しいため、同じ埼玉県とは言え現地から50km程度離れた所沢に住む私にはハードルが高く、その後は直に観ることができないでおりました。

そんな中での先日10月上旬、雨の降る昼休みにふと天気予報をみると、「夜前に雨があがる」「(出勤のない)翌日は晴れ」となっているではありませんか。そこで帰宅後に早々に布団に入り、仮眠をとった夜中にカメラを片手に車で秩父に向かいました。

向かった先は、海拔約240mの秩父市街の北にある同じく海拔約580mの「美の山公園」展望台です。ここから南側を見渡すと武甲山を背にした秩父市街を一望することができます。

車で向かう途中で既に霧が立ち込めていたので大いに期待はしていたのですが、果たして山に登ってみると、一面を覆うほどではないものの、ベールのようなとても綺麗な雲海が市街にかかっていた。まずは見惚れながら一望できる光景を撮影、その後に望遠レンズに交換し、市内にあるセメント工場にフォーカスをあてて、雲海の下から覗く街明かりの様子を撮影してみました。

夏の終わりの頃から雨ばかりで鬱々とした日が続いていましたが、その雨のおかげもあって、秋の始まり時期に良い景色を観ることができましたので、皆さんにもおすそ分けしたいと思います。

### 【撮影データ】

カメラ：OLYMPUS E-M5 mark II (OM-D)

(写真1) レンズ：Panasonic LEICA DG SUMMILUX 25mm/F1.4

露出：f3.5, 90sec  
ISO：200

(写真2) レンズ：M.ZUIKO DIGITAL ED 40-150mm F4.0-5.6 R 焦点距離：100mm

露出：f7.1, 3min  
ISO：200